

ザッパ

手井手せつ子さん

井手せつ子さん
69は、1967年(昭和42)のソロデビュー。41年開業

私の健康法

なお「健康」欠かさない。
在り、週1、2回はスポーツ
ジムで泳ぎと水中ウォー

過度の心配いらぬ、確かな知識で予防



「慢性肝炎が長く続くと、肝硬変や肝臓がんの原因となりますが、効果的な治療法が登場して治療のペースも増えているため、ウイルス検査により早期発見することが大切です」
どの型もインフルエンザやノロウイルスと感染力は弱く「せき」や「かみ」を広げない。

急性肝炎の6割を占めるのはA型肝炎。慢性化するのはB型肝炎。慢性的なB型肝炎は治療が難しく、過性の病気を通常は安静にしていれば1〜2カ月で治ると、肝臓の回復することもある。病気に詳しい柴田内科で、黄疸(おうだん)な消化器科クリニックの柴田実院長は話す。急性肝炎の100人に1人がB型に慢性化する。慢性肝炎は60〜70%の割合で慢性化してしまう。急性期の症状が出てくると、気がつかないままに慢性肝炎になることも少なくない。

B型、C型肝炎ウイルスに感染している人としては、いけないのはどれ?

- ① 握手する
- ② 抱き合う
- ③ キスをする
- ④ 一緒にお風呂に入る
- ⑤ 一緒に鍋をつつく
- ⑥ 食器やタオルを共用
- ⑦ (感染者が)せきをしているとき同じ部屋にいる
- ⑧ 歯ブラシやカミソリを共用

答えはコチラ▶

弱〜い感染力

◆肝炎ウイルスの種類と特徴◆

	A型	B型	C型
急性肝炎	起こす	起こす	起こす
慢性肝炎、肝硬変	起こさない	起こす	起こす
割合	急性肝炎の60%	慢性肝炎の20%	慢性肝炎の70%
予防ワクチン	あり	あり	なし
以前よくみられた感染の原因	経口感染 (貝類などの生の食べ物を食べたとき、家族が患者の便に触れたときなどに、口を通して感染する)	母子感染 輸血や注射などの医療行為 ・性行為	輸血や注射などの医療行為 ・フィブリノゲン製剤などの薬剤
現在よくみられる感染の原因		刺青やピアスの不衛生な処置 ・覚せい剤のまわしうち ・性行為	輸血や注射などの医療行為 ・刺青やピアスの不衛生な処置 ・覚せい剤のまわしうち

B/C型は血液介して

A型は主に加熱していない貝類、外渡航時、東南アジアに力まなごを食べる、慢性化しやすい。B型、C型肝炎は、血液介して感染する。B型、C型は、海外で感染する男性が増えている。B型、C型肝炎が日常生活の中で、人から入ることは少ない。感染者の血液に触れないようにする最低限の注意は必要だが、もし少量の血液に触れてしまっても、水でよく洗い流せば問題なし。同じ職場で夫婦を並べても、もちろん大丈夫。「握手やうつろ」などは全く根拠のない話なので、過度の不安は持たないようにしたい。(メデイカルライター・四宮 規子)

D、E…さらに新種も

1990年代に入ってから発見された新種で、まだ詳しいことは分かっておらず、F型に至ってはその存在すらハッキリと証明されていない。今後、さらに新種が発見される可能性もある。◆柴田内科・消化器科クリニック

柴田内科・消化器科クリニック院長。肝臓病専門医として豊富な経験を持ち、肝炎、肝硬変、自己免疫性肝疾患、肝がんなどの治療に力を注いでいる。専門書の執筆・編集でも活躍中。

◆柴田内科・消化器科クリニック◆
www.shibata-hepa-clinic.com

健康食

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを

脱

ボブ準備の体質改善に向けての体脂肪減らしを